

第5回嬉野市教育委員会議（定例10月）

平成28年10月12日（水）10：00～

嬉野市中央公民館視聴覚室

1 開会

小学生の健気な頑張り、中学生の清々しさをみて、子どもたちがすくすくと伸びていくようみんなで育んでいかなければと感じましたし、学校ごとに特色があり、大変いい参観ができました。

2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

3 議題

(1) 報告

① 9月定例議会について

(教育長)

芦塚議員より平成20年度学習指導要領改訂における教育の質・量について、小学校高学年の英語活動の導入について、理科教育の一層の充実について、答弁書の通りです。中1ギャップ、チーム学校について質問がありました。嬉野は不登校の数は少なく、特に中1はいませんので、中1ギャップが不登校の原因とは考えておりませんとお答えし、不登校の出現率を、当市と佐賀県の数値をお話しております。次に、学校を取り巻く社会状況の変化と今後の学校運営についてですが、質問の通告書とずれたところがあって、5番目のチーム学校が公表された分の質問ではないでしょうかということでお答えをしました。山口忠孝議員からは、次期学習指導要領改訂案について、どのような印象をうけたかという質問がありました。答弁書のとおりですが、8月2日の佐賀新聞でした。アクティブ・ラーニングに力を入れていかなければならない、そういう印象を持っているとお答えしました。2番の現在の授業時数確保や現場の教育環境は子ども達や教師にとってどのような状況かということでしたので、1015時間という授業時数でしていかなければならないので、先生も児童生徒も大変でしょうとお答えしております。というのも確定ではありませんので、そういう話をしております。山下議員からは、広川原キャンプ場に関するところで、子どもの情操教育には自然、家族との体験を通しての触れ合いが大事と思うが、今回の提案をどう思うかとのことでしたので、いわゆる情操教育についてという視点で17ページにあるようにお答えしております。増田議員からは市役所における経費削減のところ、②市役所における新電

力の導入で、財政の見直しによる経費削減はできないか、ということでしたので、19ページにあります学校の電気料の小計を申し上げまして、新電力の話につなげました。学校で市と同じように使えるのであれば差し支えありませんとお答えしました。新電力についての認識をしておりますとお答えしました。辻議員からは関所跡周辺の整備と、大茶樹の樹勢維持についての質問ですが、22ページから23ページにありますように答弁しております。国道34号線の俵坂の手前に関所跡があります。関所跡バス停があって、そこから降りていくのですが、そこが降りにくいというのが確かにあります。関所跡にふさわしいものということで合併前から取り組まれてまいりましたけれども、いろいろな事情があって予算がついていません。今も、関所跡という看板はあります。今後、シュガーロードが立ち上げられましたので、長崎街道ものせて予算化できるよう計画中ですとお答えしました。大茶樹の樹勢維持ということですが、時々見に行きますが、特に弱っている感じはありませんが、古木になっておりますので、虫がついたりしています。特に最近は、葉が黄色になっているのが目立ちますが、嬉野町時代から研究所などをお願いしておりますが、手だてが見つかっておりません。今後も樹勢を落とさないよう管理をしていきます。管理は管理人を決め、委託しておりますが、今度16日には花摘みの作業がされます。文化財の係も参加します。田中議員からも大茶樹について意見がありましたが、雪つりについて、現状でよいのかどうか、文化財委員、建設関係合同で話し合いをしたいと思っております。樹齢400年の天然記念物ですので大事にしていかなければならないと話をしております。梶原議員は嬉野市に住み続けたいと思う施設を、という質問の中で給食費の無料化についてお尋ねがありました。前回、前々回もありましたが、考えていませんとお答えしておりました。今回、27ページにありますようにお答えしました。宮崎議員からの史跡について、SeiNetについての質問がありましたが、答弁書のとおり答えております。史跡については、娯楽型から体験学習型に移行してきておりますが、教育委員会としては、保存管理をしていかなければならないところもあり、観光との両立は難しいですが、教育委員会はそういう視点でとらえています。SeiNetについては、県立高校の話を受けて、嬉野市は大丈夫かということでしたが、文書のやり取りはしておりますが、あとは答弁書のとおりお答えしております。山口議員からの奨学金の返済補助について、給食費の無償化について、部活動の休養日について、がん教育についての4点の質問がありました。奨学金については、就職先についてということでしたので答弁書の通り答えています。Uターン就職者の奨学金返済免除については、嬉野市は返済金をプールして貸し

ていくというリレー方式をとっていますので、返済を免除するとなると、そのプール金が減りますので、考えていませんとお答えしています。給食費の無償化については、9市の状況を簡単に説明して、嬉野市の場合は一億円を超える資金が必要ということで、難しいのではないかと考えておりますが、最終的に市長が答えたのは前向きに無料化について考えますということでした。そうすると、教育長と市長の答弁が違ふと、市長が出すということについてはどうかということになりましたので、市が出すというのに断る必要はないとお答えしております。特に、36ページの貧困対策の一環としてであればいいのではないかと話をしております。37、38ページの中学校の部活動について、非常に盛んであるけれども、部活動で追い回されているのではないかとということでしたので、状態については、その上の部分をこたえています。特に外部講師について質問がありましたが、塩田中学校が4名、嬉野中学校が2名、吉田中学校が1名の7名はいます。月の第三水曜日は定時退庁日で、全県的に取組みをしておりますし、今後も部活動が過熱すぎないようにしていきますということで終わっております。がん教育については、小学校5、6年生、中学校の保健の時間でしておりますし、その他にも防煙教室、薬物乱用防止教室においても、これまで行ってまいりましたが、今後もしてまいりますとお話しました。以上です。

(〇〇委員) SE I-Net について、文書のやり取りをされているということですが、成績処理などについては、学校だけではなく家に持ち帰って仕事することもあるかと思いますが、データの持ち出し管理はどうなっていますか。

(事務局) 嬉野市は SE I-Net での成績処理はしていません。基本的に家に持ち帰ることをしていません。通知表の所見欄は持ち帰ってすることもあります管理は気を付けるよう指導しています。ハードロックキーを導入しておりますので、万が一紛失した場合も部外者には見られないようになっています。

(教育長) ハードロックキーは塩田地区にはありませんでしたが、嬉野地区の余分を塩田地区の学校にも配布しました。基本的には学校で処理しますので、学校のサーバーに保存されますが、やむを得ず持ち帰る場合はハードロックキーを使用するよう指導しています。

(事務局) 学習状況調査の結果だけは、一定の入力期間だけですが、パスワードがあれば見られるようになります。そこは、絶対気を付けるようっております。

(〇〇委員) 学校で固定したパスワードですか。

(事務局) 個人です。パスワードを割り振られた人だけが、見られるようになっています。

ます。

- (〇〇委員) 県の教育委員会から、毎年配布されるわけですね。
- (事務局) 毎年ではありませんが、三か月に一回パスワードを更新するようになっています。
- (〇〇委員) 県が市町の教員がパスワードを持っていることは把握しているのですね。県が指導を徹底していますね。
- (事務局) はい。指導があっています。
- (〇〇委員) 成績処理を学校ですということは、時間外や休日出勤されている先生も多いのですか。
- (事務局) 多いかどうかは分かりませんが、平日にできない分を土日に出てきてされる先生もいらっしゃいます。中学校が小学校に比べて多いと思います。
- (〇〇委員) そういう仕事は学校ですることが定着しているのであれば、学校の仕事の時間の中で処理していこうと、少しずつ仕事を軽減する方向にみんなが努力していったらいいですね。仕持ち帰って、夜中に書いて当たり前というところがありましたけれども、量があるので、学校にいる職員が多いとか時間を費やしているのが、目に見える形で分かるのであれば、何とかしようと、職員や市教委が考えていけば、少しは先生方の仕事もよくなると思います。
- (事務局) 成績処理の期間は短縮時間にして放課後に時間をとれるようにしています。また、TT 指導法改善の先生が各学校にいますので、期間中は、採点をその先生に頼んだりして役割分担して、努力はされていますが、まだまだ大変というのが現状です。
- (〇〇委員) 手分けするのはいい方法ですね。
- (事務局) 以前は所見が手書きでしたが、今はパソコンで、修正もすぐできますので、負担軽減になっていると思います。
- (〇〇委員) 石川県で野球部の送迎の事故がありましたが、嬉野市の子どもが同じような事故にあったらどうなるのか心配でしたが、石川県の場合も先生ではなく保護者が運転していましたが、そういう場合、責任は保護者の責任になるのでしょうか。
- (事務局) 保護者が運転していたら、保護者の責任です。教員が出張として認めて、業務として運転していた場合は、教育委員会が保障問題も含めカバーしていくこととなりますが、報告がなく、勝手に載せていった場合は難しいと思います。
- (教育長) 嬉野市は遠足の場合も、荷物を運ぶために車を持って行ってはいいけれども、救急車としても使わず、タクシーを呼ぶよう指導しています。

- (〇〇委員) 今のところは、そのような部活動のルールにまかせているのですね。
- (事務局) 基本的に教員は車に子どもを載せないとしています。
- (〇〇委員) 運転者がどのような保険を掛けられていたか非常に心配になりますよね。
- (〇〇委員) 保護者間でも誓約書を書くというのがありますが、効力があるわけではな
いからですね。
- (教育長) 保護者間で送迎をすることになった頃は、お互い申し合わせをして、一切
の責任を問いませんという書類を書いていた時もありました。
- (〇〇委員) 親が書かなくて、子どもを辞めさせるというのがあって、かわいそうでし
たね。
- (〇〇委員) 運転に自信がなくても、当番と言われたら運転しなければならないですも
んね。中体連の時はバス代がでるのですよね。県外も強くなると行ったり
しますものね。
- (事務局) 教員の多忙化も含めて、部活動の過熱、小学校の社会体育の過熱をどうに
かしないといけないところがあります。
- (〇〇委員) 毎週のように、宮崎、熊本等遠方に行っていました。運転するのは保護者
で、先生も載せてくださっていました。その時分はそういう決まりがあっ
たのかどうか分かりませんが、事故がなかったからよかったです。朝
早くから、夜遅くまで、ありがたいやら、そこまでせんばとかなという感
じでしたが。大勢で話し合ったらどうでしょうか、いろいろ方法を考えて、
小さな意見も聞いて、話し合う時期かなと思います。
- (〇〇委員) 学校が冷静な対応をするのが大事で、勝つことが大事だと舞い上がりず、
このニュースは他人ごとではありませんね。部活の先生の負担軽減もあり
ますし、子どもたちの学校の授業も大事だと教えなければなりませんし、
部活もどこかセーブをしながら進めていかなければなりませんね。
- (〇〇委員) 給食費の完全無料化について、市長から前向きに検討しますとの回答は、
今回初めてだったのですか。
- (教育長) 初めてです。正式に答弁されたのは初めてです。
- (〇〇委員) 結構な金額になりますし、学校も修繕箇所が多くある中で、両方継続的に
できたらいいのですが、完全無料化はどうかと思います。自分は福祉
の仕事をしていて、初めはよくても、後でだめですよとなった時が、もの
すごく苦勞します。
- (教育長) 一度出し始めたら出し続けなければならないので、教育委員会のフレーム
予算の中から出せと言われたら、修繕もあるので、難色を示してきたわけ
ですが、市全体として施策としてするのであれば、首長の判断になってき
ますので、今も協議があつております。
- (〇〇委員) お金を出したら住みよいまちという訳ではありませんし、継続的にできる

のかどうか計算できるからですね。

(教育長) 今もいろいろ協議がっております。

(〇〇委員) 教育委員会として、フレーム予算内だというのが大きいですね。先程、電気代が出てきましたが、だいぶ節約してもらっていますので、そこに入ってくるとなると大変ですね。

(教育長) 電気代は学童の分もありますから、電気代が上がらないように工夫をして、辛抱させているところもあります。

(〇〇委員) 塩田中学校は新校舎でLEDを使用して、経費節減を考えていただいて新校舎ができていますが、電気の使用料が一番高いのは冷房を使わなければならないということだと思うのですが、何か構造的に電気を使うような構造なのでしょうか。

(事務局) 夏は暑くて、冬は寒い。夏は風が通りにくいし、見た目はいいのですが、現場の意見はそういうことです。

(〇〇委員) 嬉野中よりも多いのでなぜかと思ひまして、電気は全部LEDで電気をくわないようになっているのですよ

(〇〇委員) 嬉野中は、中体連、運動会に向けて極力エアコンをつけないようにしているからかもしれません。冬もつけません。

(〇〇委員) 2年目点検で要望をだしてみましたということでしたので、使ってみてどうだったのかに加えて、電気代についても使わざるを得ない状況だったのか聞いてみたいと思います。

(〇〇委員) 健康教育のことで話がありましたが、今度、嬉野小学校でスマホ、携帯の適切な使い方の講演があります。これまではなかったのですが、現実、持っているので、前倒しであってよかったと思うのですが、防煙教育についても早めに、中学校で誘惑に負けそうな時期ではなく、もっと純粋な時期に少しでもしていたら違うのではないかと思います。

(事務局) 防煙教育は小学校でもしています。

(〇〇委員) うちの子は保育園の時に聞いてきて、絶対タバコは吸わないと言って帰ってきました。幼い子にそういう教育をすともものすごく怖いものだと、帰ってきてすぐ言ったので、必要だなと思ったことがあります。引き続きお願いいたします。

② 9月補正予算について

(教育長) 前回提出しました補正予算は全件可決されました。その報告です。

③ 第4回校長会について

(事務局) 2学期制の前半の後期かスタートするというので、2学期に向けての指

導をしました。大野原中と塩田中のソフトテニス部が全国大会に出場しましたので、体育賞の表彰式と市長との懇談会をしました。(2) 問題行動、事故について、夏休み明けですので問題が発生しやすくなりますので、事前防止指導を十分行うようお願いしました。3番目は花火大会の翌日、生徒達がボランティアを、嬉野中学校は恒例的にしておりますが、塩田中学校もコミュニティ・スクールとしておりますので、呼びかけをしてボランティアをしてもらってはどうかと話をしております。12日の朝6時に私も行きましたが、嬉中は100名を超える生徒数で職員も出てきておりました。市役所、観光協会と合同でしてくれておりますので、中学校だけでなく、小学校も広めてみてはどうでしょうかということ話をしました。それから、交通事故防止ということで、教職員の事故も頻繁に起こっております。全国で佐賀県はワースト1ということもありますので、ここでは具体的に、車間距離を十分にとるということで話をしました。それから、5番目の体罰防止については、ちょうど体育大会がある時期が、過去振り返ってみると、体罰が強く表現される時期でもありますので、体罰については、教職員の信頼を勝ち取るためにという資料を使って、再指導をしてほしいという話をしました。6番目は安全指導ということで、組体操、熱中症等にも気を付けるように話をしました。組体操については、嬉野中、塩田中で当日怪我はありませんでしたが、塩田中では、練習の時に怪我が出ております。子どもたちの完成の達成感は最高であるけれども、小学校でも嬉野市内ではしているところが多くて、中学校では三角ピラミッドが5段まで成功しております。全県的には、国もですが、それぞれの市町の判断ということになっておりますので、これについては一度校長会でも話をする必要があると思いますが、保護者とか生徒の成功感はいい話しか聞きません。大阪府は全面禁止です。女子は集団のダンスで、スタンプに代わるものということで、昨年度から言い出しているところです。7番目は学校塾の支援員さんの研修が10月1日にあり、20名程参加されました。学校塾について、この子は是非、学校塾に来てほしいという子が、学校塾に来ているのか、もう一度確認をして、学校から呼びかけをしてほしい。特に、嬉野小学校校区の参加率が低く、高いところは大野原が100%、他は50%ぐらいですが、嬉野小学校は27%で、6年生になると一桁代です。校長先生に少し話をさせていただいたほうがいいかと思います。今度の学習状況調査と、通塾の割合を比較すると、学習習慣の定着の部分ですので、通塾人数が多いところが、学力が上がってきているような感じがありますので、働きかけをしたいと思います。9月から12月までいろんな行事がありますので、しっかりと準備をして臨んでほしいとお願いしまし

た。その他の部分ですが、学習状況調査結果で集計ミスがあったということで、今月の27日が正式公表でしたので、1か月ほど遅れました。今日、委員さんへはお配りしました。嬉野市については、大差ないだろうということで状況をお話ししております。それから、9月議会の日程と新ALTペイン先生の紹介、それから綱紀粛清について情報セキュリティ、わいせつ事案、飲酒運転について具体的な資料、新聞記事を盛り込みながら指導をしました。2学期のスタートということで、校長先生方に、夏休み体制ではなく、引き締めてスタートしていただくようにと指導いたしました。済んだ後、ある校長に、毎年こういう指導をしているがどうかと聞いたところ、こういう会があった方が、自分たちも校長として身が引き締まると、二人の校長に聞きましたが、そういうことでした。

- (〇〇委員) 組体操を実際、両校見ていただいた先生、ご意見はいかがでしょうか。
- (事務局) 嬉野中は当日見に行きましたが、これまで一度もできていなかったピラミッドが全部できたということで、生徒も指導者も非常に感動していたということはよかったのですが、上に上にと派手さだけでなく、基本の2人組みのサボテンとかを正しくできるというところから指導していかなければならないと指導者とも話をしていました。昔はジャンプを高く飛んでいましたが、今はそういう筋力もありませんし、とにかく安全にということで指導をしているということでした。塩田中は当日見られませんでした。前日の全体練習をみました。スタントに指導に関わったことのない先生が、よそからいらっしゃった体育以外の先生にはたくさんいらっしゃるので、スタントの指導のポイントを十分理解されていない先生が多いなど、そういうところが続けていくうえで課題かと感じました。ある先生からは、スタントの指導の前に指導者の講習会を是非してください。危なくて見られませんかという感想も聞きました。そのあたりも課題かと思います。
- (〇〇委員) 注意してみてくださいだったので、指導者の指導力とか、子どもの体力とか、指導主事が指導、話し合いに入って話をしながら今度の組体操については考えていかないといけませんね。
- (事務局) 嬉野中は、3年生が1年生に指導して、2年生は自立して、3年生はできたうえで教えることもできるようになるという指導体制というか、自分たちの学ぶ体制ができているのですが、塩田中はまだそういう体制がうまく確立されていないところを感じましたので、上級生が下級生に教えていくという体制づくりもしていかないと、続けていくのは難しいと思います。
- (〇〇委員) 今聞いた中でも、課題もあるし、やり方によってはいろいろな方法があるということで、是非今後改善して、子どもたちが達成感を味わえるような何かを考えていきたいと思います。

・社会教育行事について

(事務局) 10月1日に宿泊合宿最終日ということで、2泊3日、25名の参加で、1名怪我をすることがありましたが、大したことにはならず、保護者からは高評価をいただいております。感想文を当日配布し、先週1週間で提出としておりますので、取りまとめをしております。保護者、子どもの感想文がまとまりましたら、来月の教育委員会で報告いたします。怪我の報告ですが、入校日に学校から楠風館に来てすぐに、友達と遊んでいて、右手の親指の付け根をひねったということで、子どもから夜九時頃報告を受けましたので、ちょっと痛むということでしたのですぐ保護者に連絡したところ、痛むという程度なら続けさせてください、次の日まで痛むようなら対処しますとのことでしたので、その夜は終わって、翌日金曜日、様子を聞いたところ、まだ痛みがあるということでしたので、病院を受診したところ、ひねった程度だろうという診断で、月曜日に再度受診し、MRIでヒビが入っていることが分かったそうです。金土は、子どもの強い要望で、続けさせてくださいということでしたので、最終日の土曜日まで参加しております。続きまして、8日、山の体験ということで、九重の扇が原に登りました。標高1700m弱の山です。当日の申し込みが22名でしたが、雨模様でしたので、14名が参加、子ども連絡協議会、市役所関係者が6名、総勢20名で登っております。当日、嬉野は強い雨が降っていましたが、現地は雨が降っておりませんでした。下山して15分して雨が降り出しました。タイミングとして登れてよかったです。15日は県民体育大会が開催されます。佐賀市、多久市、小城市周辺で開催される予定です。続きまして29日から30日までは塩田地区の文化祭がリバティで、30日から2日までは嬉野文化祭が開催される予定です。11月は大きな行事は入っていません。29日は「日本フィルハーモニー創立60周年記念～弦楽四重奏団コンサート」がリバティで開催されます。以上が、社会教育関係の行事報告です。

(〇〇委員) 通学合宿は来年もされますか。

(事務局) 非常に好評でしたので、来年も是非してくれという声を聞いております。特に今回は初めてということでしたので、塩田地区の婦人会にご協力をいただきまして、初日の夕食、2日目の朝食の下ごしらえ、夕食の献立はカレーでしたが、子どもたちに買い出しに行かせて、カレーを作るのを見守っていただきました。3日目の朝食もフレンチトーストでしたが、それも下ごしらえと見守りをいただきました。婦人会の方も非常に楽しかったので、来年もしてくださいといううれしいお言葉をいただきましたので、是

非、来年も計画したいと思います。

⑤ その他

・不登校の状況について

(事務局) ・まず、8月8日となっておりますが、10月7日現在のデータですので、訂正をお願いいたします。9月末までの様子ですけれども、30日以上が1名増えまして、11名になりました。グラフを見ていただいたら分かりますように、昨年より早いペースで10人を突破しております。全体的な数としては、例年並みに落ち着くのかなと思っております。塩田中が5名、嬉野中が6名です。先程もありましたように、1年生の30日以上は現在のところおりません。少し増えてきたなという子が、不登校傾向として1年生の女子に上がっております。9月になって、スチューデントサポートフェースが県の不登校対策事業と連携を取って、動き始めましたので、家庭になかなか入っていけない困難なところが嬉野中で1名、塩田中で1名、その力を借りながら今対応しているところです。傾向としては、適応指導教室に通っている子が体育大会に接待係として出てきた子もいますし、去年まで不登校気味だった子が何とか来られていますという子もいますし、いい部分も何件あります。ここの数字が減る訳ではないのですが、改善の傾向のある子も何人かいます。不登校傾向としてあがっている子も、今後見ていく必要があると思います。小学校6年生に30日未満に男子1名、女子1名上がってきております。男子は、ほぼ欠席なしで来られていますが、女子1名は、嬉野中のスクールソーシャルワーカーが毎日対応をして、毎日迎えにいたり、登校刺激をしています。来年、中学生になりますので、さらに連携して対応していかなければなりません。スクールソーシャルワーカー、適応指導教室、教育相談員、心の教室支援員とかと連携しながら、他の市町より少ない状態に抑えているところですが、一つどこか狂い始めると出てくるというのが、不登校ですので、減ったからいいとか、今の状況だからいいのではなく常に見ていかなければならないと考えております。このあたりは、財政にも減ったから減らさないで下さいと伝えていきたいと思っております。

(〇〇委員) うちの子も30日は越えなかったのですが、休んでいまして、理由は低学年で言えなかったのですが、だんだん治りました。上の子は小学校の時、いじめられました。そういう経験を持つ親が何か役に立つところがないかなと思います。難しいかとは思いますが、近所にも中学校3年間、行かなかったお子さんを持つ親さんがいらっしゃるので話をしますが、何か失敗を活かせないかなと思います。

(事務局) 関連があるかどうか分かりませんが、中学校では不登校親の会があります。その中には、中学校までは不登校だったけど、高校は行っているという親さんも参加してもらって、体験談や今の状態だったらまだ大丈夫とか話をされて、親の安心感を持つような、悩みを打ち明けるような場を設定されていますので、そういうところで助言とかしていただいたら非常に助かるかもしれません。

(〇〇委員) 学校が独自にでしょうか。

(事務局) 嬉野中学校も塩田中学校も、学校ではしにくいですので、公民館や文化センターを借りてされています。

(〇〇委員) 親も子どももでしょうけど、聞きたいことがたくさんあると思いますしね。

(教育長) 親さんには学校から呼びかけられています。

・図書館の開館日について

(事務局) ・45ページです。昨年度より図書館を祝日開庁できないかという意見があっておりました。それをもちまして、県内の図書館の開館状況をお示ししております。マーカーがついているところが、嬉野市の状況です。結論から申し上げますと、前回、嬉野市教育施策実施計画でも上げておりましたように、昨年度より遠隔地巡回図書を始め、いろんな事業を行ってまして、人員の配置が、嬉野と塩田の2館の開館を11人の職員と一般職非常勤で行っている関係でなかなか祝日の開館は難しいと、鹿島市のような形で、翌日を代わりに立てれば、開館状況は変わらないけれども、条例の施行規則により祝日は、子どもの日と文化の日以外は閉館とし、市民の方にも定着しておりますので、祝日開館は難しい状況です。

(〇〇委員) 鹿島市のようになぜできないのか。しようと思えば、できるのではないかと思います。祝日開館して、翌日休めば、何も条件は変わらないし、一般の方が、祝日利用する可能性は高い訳ですから、それに答えていこうとする努力は必要だと思います。条例で決まっているということですが、変えられるわけですから、子どもたちもですが、市民の方も利用しやすいように提供していくことが大事だと思います。もう一点、毎月の休館日のところが空白ですが、毎月第三木曜日が、蔵書整理のため休館日になっていると思いますがいかがですか。

(事務局) 開館日を増やしてほしいという要望が教育委員会からあっておりましたので、一昨年から開館日としております。

(〇〇委員) 蔵書整理日はないわけですね。

(事務局) はい。そうです。

(〇〇委員) 今月は、8、9、10日と連休で、10日が祝日で、鹿島市図書館は空いていまして、次の日図書館へ行こうと思いましたが、祝日の次の日は休みだと頭の中では定着していますので、火曜日が開いていなくても、利用者は、火曜日だけれども祝日開いていたから休みなんだと、火曜日が開いていなくても何とも思わないですけどね。違和感はありませんがね。

(事務局) 市民の声は、開いていたら便利ということは分かりますが、予算の関係で人員の配置とか考えていけば、人のやり繰りができません。鹿島市は1館ですが、嬉野は11人で2館ですので、また水曜日は巡回図書がありますので2人配置をし、職員は土日休みですが、図書館は1日休みで職員と非常勤でまわす状況です。鹿島市のように祝日は開館して翌日は休みとしてほしいという市民の声を多く聞けば、条例で決まっているので変えられないということではなく、要望さえあれば、年間の開館状況をみて、変更は可能だと思いますが、なかなか開館の要望の声が届かないですので、今の状況です。おっしゃるように祝日開いていたら便利ということはあるのですが、人員の配置ができにくいということがありますので。

(〇〇委員) 開いていないことの理由にしか聞かえないですね。
子どもに優しい住みよいまちづくりということが掲げられているのですが、前回、何年も前に話をしましたが、よそから転入をしてこられた親さんが図書館に行こうとしたら、塩田は祝日は閉まっているんですね、だから子どもと鹿島に行きましたという声がありました。大きく声を出される方ではないですが、とても子育てに熱心な方で、せっかくこちらで住もうとしてくださって、来られたのになあという思いがあったので、この場でお話したことがあります。今後も、話し合いを進めていきたいと思います。

(〇〇委員) 今の職員では回らないのであれば、一人増員が必要ないですか。

(〇〇委員) 祝日の翌日は休みなので必要ないのではないでしょう。

(事務局) 県内の状況でいけば、武雄、県立図書館くらいで、あとは祝日開館しているところが見当たらないですね。〇〇委員のおっしゃるように祝日開館して、翌日閉館ということであれば、十分議論の余地があります。

(〇〇委員) 単純にみて祝日開いていると利用しやすいというのは分かるので、統計を取ってみるといのはどうですか。

(教育長) 事務局で検討してみます。

(2) 協議

① 入学式の期日の設定について

(事務局) ・46ページです。お子さんが小学校と中学校に同時に入学する。今は、同じ日で2時間半くらい時間をずらして行っておりますが、ゆっくり見ら

れないし、話も最後まで聞けないので、午前と午後とかずらしてもらえないかという話をききました。市役所内でも、同じような子どもを持つ職員に話を聞いたところ、大変だったということでしたので、他の市町を聞いてみました。結論から言うと、嬉野のようにしているところは、嬉野と鹿島と太良の3つだけでした。小さな町は聞いていません。だいたいのところは期日をずらしてやっておられます。多久は小中一貫校ですので、一緒にしていますということでした。他は、中学校を1日早くして、次の日が小学校というパターンが多いようです。今日、教育委員会で一定の方向性を出していただけたらと思います。メリットとしては、ゆっくり参加できるということ、今は一人親さんもいらっしゃるの、両方に参加するのが難しいというケースも考えられます。校長先生もどちらにも参加できると思います。逆にデメリットとして、2日拘束されたくないという方もいらっしゃると思います。来賓、区長さん、民生委員さん、教育委員さんも含めてですね。授業日数が減るのは1日ですし、1年生ですので、何とかなるとは思いますが、このあたりで、議論していただけたらと思います。

(〇〇委員) いきさつを思い出すと、高校と、小中学校はずらして、小中は同じ日という話をした経緯がありますが。

(教育長) 今、中学校を9時から、小学校を10時半からしておりますが、バタバタして移動せんといかんと、ゆっくりおりたいという要望ですね。卒業式は問題ない。卒業式を高校とぶつからないように嬉野はしていますが、一つの案として、高校の入学式の日には小学校の入学式をする案ですね、前には持って来られないからですね。

(事務局) ちなみに、要望された方は、同じ日が助かるということでした。入学式の後にも話があるので、午前、午後にしてもらえないでしょうかということでした。

(〇〇委員) 中学校も小学校程ではないにしても、学級取り扱いがあるので、そこもいたいということですよ。

(教育長) 小学校は記念写真もありますからね。

(〇〇委員) 小学校の先生も今日はいらしてますが、現実的にどうでしょうか。

(傍聴者) 個人的には朝から行きたいという気がしますが。

(教育長) 今は中学校が先で、小学校は10時半からですので、小学校を午後にはずらしたら、弊害はないかと思いますが。

(事務局) 小学校を10時半からして、午後から中学校でもいいわけですよ。小学校は記念撮影までして、1時過ぎまでかかっていますから、早くしないと中学校に間に合わないと思います。

(〇〇委員) 企業側からすると、学校行事の節目は休ませようとしていますが、2日と

なるとですね。同日の方がありがたいなと思います。

- (〇〇委員) 中学校を8時半に始めることはできますか。
- (事務局) 職員にきいたところ、30分くらいでは足りないみたいですね。
- (〇〇委員) 午前午後にしてみましょうか。
- (〇〇委員) 1年生は指導がいるので、午前が小学校で、午後が中学校がいいと思いますが。
- (〇〇委員) 小中分けない方がいいですよ。親の負担を減らすように同じ日にしているのでそのまま、高校とは別の日で、午前午後と分けましょうか。
- (事務局) 4月10日が県立高校の入学式が予定されているので、翌日の11日になると思います。
- (〇〇委員) 小学校は9時半、中学校は13時30分ですね。
- (教育長) 校長にも下してみます。

② ケーブルテレビのデータ放送について

- (事務局) ・嬉野のテレビ九州が文字放送を来年の1月から始めようと思っていると、そこで学校というボタンを作って、学校の内容がでてきて学校のホームページにつながって学校のニュースが見られたり、休校等のメールが見られたりするサービスを始めたいがどうですかとのことです。便利だと思いますが、嬉野地区のみで、塩田地区はないということ、それから、今の学校メールは、自分の学校の保護者にしか流しませんが、これだとみんなに見られてしまうこと、他にもいろいろメリット、デメリットあるかと思いますが、今月末までにお返事するようになっていきますので、ここで協議いただきたいと思います。
- (教育長) 学校の現状は、学校便りは回覧板で全戸まわっています。テレビ九州と契約していないところは見られません。緊急のメールはマチコミメールでいきますし、防災無線も使っています。嬉野地区のみで、一企業で公的なものではない。また毎月でしょうから、学校の先生の業務も増えてくる可能性があります。
- (事務局) 危惧されるのは、この業者が加入を促進するなかでにあたって、学校が利用されてしまう可能性もあることで、営利主義で批判も上がる可能性がありますし、公共放送であれば別ですが。
- (〇〇委員) 考える余地があるようですが、メールは全部に周知する必要はないですよ。ホームページにある部分は出すのは大丈夫だけれども、個人の企業に係る部分に私たちが出すのがいいのかということ、嬉野地区だけで塩田はない、塩田の方もなった時に教育委員会からケーブルテレビにお願いするとするとそれは方法が違いますよね。

(〇〇委員) 今の連絡の現状が間に合っているかいらないかで、間に合っていれば、リスクのあることはしないですね。

(〇〇委員) 個人的には、よその校区の情報も見られたらいいとは思いますが。

(〇〇委員) 今回は受け付けないということでいいでしょうか。

(全委員) はい。

(教育長) もう1件、11月13日は嬉野市の教育の日ですが、2校ほど訪問をお願いしたいので、割り振りをお願いします。瀬戸口委員が五小と吉田小中、〇〇委員が轟小と大野原小中、〇〇委員が嬉野小と大草野小、〇〇委員さんがなしということでお願いします。内容につきましては次回お示しします。

(3) その他

① 嬉野市教育委員会の学校訪問

- ・ 10月 5日 (水) 塩田小
- ・ 11月 2日 (水) 大野原小中
- ・ 11月 9日 (水) 大草野小

③ 次回教育委員会議

会議録署名委員
